

2024年7月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第235号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2024年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第2回セミナー開催のお知らせ

当研究会では、毎年、農林水産・食品産業に関わる5つの専門部会の新技術等に関する第2回セミナーを開催しています。多数のご参加をお待ちしています。

【開催日時】2024年9月3日(火)

【開催場所】ウインクあいち12階1202会議室(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

【開催方法】会場参加及びオンライン(Zoom Webinar)参加のハイブリッド開催

【講演部門】○食品部会 ○畜産部会 ○作物部会 ○林産部会 水産部会

【講演】講師と演題(詳細は後日ご案内します。)

*セミナー終了後、会場内で名刺交換会を予定しています。

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆農林水産省東海農政局

令和5年度食育白書を公表(令和6年6月7日付け)

特集テーマは「農林水産業に対する国民理解の醸成」と「子供・若い世代を中心とした食育の推進」です。

この白書を通して、食育について広く国民の皆様を知っていただくことを目指しています。

詳細はこちら(プレスリリース)▼

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/240607_7.html

令和5年度食育白書(令和6年6月7日公表)▼

https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/r5_index.html

☆三河一色めすうなぎ研究会の活動紹介

生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」(JPJ007097)の支援を受け、「大型雌ウナギによる新規市場開拓コンソーシアム」の研究成果を社会実装するために設立した「三河一色めすうなぎ研究会」の活動を紹介します。

三河一色めすうなぎ研究会は5月29日よりMakuakeサイトで「関係者しか知らない幻のめすうなぎ」のクラウドファンディングを実行しています。

(<https://www.makuake.com/project/ishikiunagi/>)

また、「めすうなぎ」の取組みが中京テレビに取材され、6月4日に放映されました。アーカイブは下記のURLでご覧いただけます。

(<https://youtu.be/g0Pq0NQbb9Q?si=WY0mKMNBdazFyRFe>)

.....
3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）
☆農林水産省が主催する「アグリビジネス創出フェア 2024」（Agribusiness Creation Fair 2024）

テーマ：「距離が縮まるマッチング Agri」

開催日時：2024年11月26日(火)～28日(木)

会場：東京ビッグサイト南2ホール

本フェアは、全国の産学官の機関が有する、農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで分かりやすく紹介し、研究機関同士や研究機関と事業者との連携を促す場として開催する「技術交流展示会」です。

▽詳細はこちらから▽

<https://agribiz.maff.go.jp/2024/>

.....
4. 農林水産・食品分野の公募情報

【研究開発関連】

■省庁等

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「令和6年度戦略的国際共同研究推進事業（フランス共和国との共同研究分野）」
- ・JST：「2024（令和6）年度 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）実装支援（返済型）」
- ・JST：「大学発新産業創出基金事業 令和6年度ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム」
- ・JST：「2024年度 戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）EIG CONCERT-Japan 第11回共同研究課題募集」

■民間等

- ・日本ゴマ科学会：「令和6年度研究助成」
- ・公益財団法人東洋食品研究所：「2025年度食品研究助成金」
- ・一般財団法人油脂工業会館：「令和7年度研究助成」
- ・公益財団法人浦上食品・食文化振興財団：「令和6年度学術研究助成」

上記、各事業及びプログラムの詳細な情報については東海生研HPをご覧ください。

東海生研ホームページのNEWS（お知らせ）のURL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....
5. その他の情報

【技術解説】

☆あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センターニュース 2024年6月号より

・油脂の酸化に対する光源の影響について

食品工場、小売店、食品展示ショーケース などでは、光源として蛍光灯やLED照明が用いられています。近年では、LED照明は蛍光灯に比べて消費電力が少なく長寿命である、発熱量が少ない、紫外線をほぼ発しないという利点から、LED照明の導入が進んでいます。一方、食品に光を長期間照射し続けると、変色や異臭が生じるなど、品質変化が起こることが知られています。食品中の油脂も光により酸化が促進され、酸化した油脂は食品の風味を損ねるだけでなく、食中毒などの健康被害を引き起こす恐れがあります。そのため、包装条件や賞味期限を決定する上で、油脂の酸化に対する光源の影響を把握することが必要です。光源に蛍光灯とLED照明を用いた場合の油脂の酸化に及ぼす影響について試験を行いましたので、紹介します。

▽詳細はこちらから▽

https://www.aichi-inst.jp/shokuhin/other/up_docs/news2406-2.pdf

【技術情報】

☆農研機構は、収量が高い米国品種と加工適性が高い日本品種との交配により、多収で豆腐に利用できるダイズ新品種「そらひびき」、「そらたかく」を育成しました。

・「そらひびき」(東北194号)は東北南部～北陸地域が栽培適地で、既存の品種と比較して2割以上の多収が見込まれます。

・「そらたかく」(四国46号)は東海～九州地域が栽培適地で、既存の品種と比較して5割以上の多収が見込まれます。

▽詳細はこちらから▽

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/tarc/163266.html

☆農研機構では、作物生育における季節環境を精密に再現あるいは模擬できる人工気象室「栽培環境エミュレータ」に、大きさや色などの作物形質を連続で取得可能な「ロボット計測装置」を内蔵した「ロボティクス人工気象室」を開発し、イチゴの生育制御技術の開発等、様々な研究に利用しています。

本装置を用いて、21世紀末(2100年)の季節環境を人工的に構築し、水稻生育に与える影響を調査しました。その結果、現時点を超える気候変動の緩和策をとらない場合、高温と高CO₂濃度が生育を早め、収量と品質の低下を引き起こす可能性があることを明らかにしました。本成果は、将来の気候変動への対策として、温暖化に対する頑健な品種の育成、生育を管理するための栽培技術の開発などに役に立つことが期待されます。

▽詳細はこちらから▽

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/rcait/154498.html

.....

編集後記

東海地域もようやく梅雨入りとなり蒸し暑い日が続いています。体調の管理に十分お気をつけください。通勤電車の窓から見えるあちこちの田んぼでは、シラサギの姿がよく見

られるようになり、木々の葉の成長も早いと感じています。

さて、東海生研の本年度第1回セミナーを無事終えることができました。セミナーにご参加の皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。また、セミナー後の懇親会では多くの方より講師への温かい励ましをいただいたようです。

第2回セミナーを9月3日（火）にウイंकあいちで開催いたします。食品、畜産、作物、林産、水産の5分野から最新の情報をテーマとする予定です。ふるってご参加ください。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp （*を@に書き換えてください）

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>